

ゴルフ場での交遊

豊澤 幸平

ゴルフ好きなので頻繁にゴルフ場に足を運ぶ。もっぱら東京都のTカントリークラブに行くが、北海道をはじめ全国にも出かける。太陽の下（たまには雨もあるが）、木々の緑のなかで美味しい空気を吸いプレイに熱中すると、ストレス解消になる。約一万二千歩も歩くので体にもいい。これらのことに加え、最近発見したが同伴プレイヤーとの会話も結構面白く興味をそそる。

特に時々一人で行く時は、見知らぬ人とプレイをすることになり、昼食を挟み約六時間ご一緒すると、思わぬ出会い、知らないことを知る貴重な機会となっている。

ある日、昼食時の会話で、同伴者の一人が学童保育の塾を経営していると。私の世代は学童保育が一般的でなくあまり知識もない。興味を持って聞いていると、「今や学童は当たり前、運営方法、内容も様々。子供を預かる場所で勉強を教えることにとどまらず、生活習慣を身につける場、安全な居場所の提供、保護者の就労支援等に役割もある」と。この塾のスタッフは全員ネイティブに英語を話す人と聞き「えー」と驚いたが、最後に授業料を聞いてまたビックリ。

また別の日、ご一緒した方は八十歳前後とお見受け。動作は素早く、ショットの距離も我々と変わらず、スコアは私よりも上。「御上手ですね」と申し上げたら、この方の同伴者が「Aさんは八十八歳。エイジシュート（スコアが年齢より少ないか同じ）を十回ほど達成されておられます」。私は、「これは失礼なことを申し上げました。日頃、どんな運動をされておられるのですか」とお聞きすると、「テニスを若い時からやっています。今は筋力トレーニング。真夏のゴルフ場の猛暑も苦痛ではないです」と。私もあと十年、八十七歳くらいまでゴルフを楽しみたいと思っていたがいい手本を見せて頂いた。

ゴルフは少々お金がかかるスポーツ。しかし心身にいい（と信じている）。加えて仕事の現役から離れ新しいことに触れる機会が少ないなか、ゴルフ場は新しいことに触れ発見する場でもある。

（二〇二六年七月）